

2021年6月8日

船橋市長 松戸 徹 様

## 新型コロナウイルス感染症対策、ワクチン接種に関する要望書

日本共産党船橋市議会議員団  
代表 岩井 友子

船橋市においても5月からワクチン接種券の発送が始まりました。

接種券が届いた市民の方から「かかりつけ医に問い合わせたが、予約を受け付けていないと言われた」「もうすでに予約が埋まったと言われた」「問診票が同封されていない。ダウンロードすると言われても高齢者にはできない」などの苦情や意見がたくさん寄せられています。

ワクチン接種を行う医療機関からも「市民から問い合わせが殺到し、業務に支障をきたした」「接種直後の経過観察をするスペースの確保が難しい」などの訴えが寄せられています。

今後もスケジュールに則り順次接種券が発送されますが、市民が混乱なくスムーズに接種が受けられるよう、以下の対策を求めるものです。

### 記

#### 1. ワクチン接種について

- ① すでに予約が一杯だとして断られる方、接種会場になっていない医療機関がかかりつけ医の方、かかりつけ医の所在地が他市で「市民優先」だとして断られる方などがいます。市民が確実に接種できるよう、集団接種会場を複数設けること。
- ② 予約方式を現状のような個人任せにせず、全市民が安心して公正に接種できるよう改善すること。
- ③ 接種スケジュールを見直し、迅速に全市民が接種できる計画を改めてつくること。
- ④ ワクチンコールセンターの対応を改善すること。委託先に丸投げするの

ではなく、対応状況を把握し、職員への教育や指導を促すこと。

- ⑤ 接種券の発送時に予診票を同封すること。当面、インターネットやパソコンの操作を行えず苦労している市民のために、市内の各公共施設の窓口にて予診票を置き、広報などで周知すること。
- ⑥ 接種会場になっている病院などの予約方法、予約状況をホームページなどでお知らせすること。
- ⑦ ワクチン接種の相談窓口を増設し、保健所の体制を強化すること。
- ⑧ 接種できる医療機関を増やすこと。
- ⑨ ワクチン接種協力医療機関への経済的支援を行うこと。
- ⑩ 在宅介護従事者などケアワーカーもワクチン優先接種の対象として、迅速に接種を行うこと。
- ⑪ ワクチン接種を希望しない市民が不利益や不当な差別を受けることがないように配慮し、市民周知にも取り組むこと。

以上